

第2期越谷市国民健康保険保健事業実施計画

第3期越谷市特定健康診査等実施計画

中間見直し版(概要版)

みんなで健診 広げよう健康こしがや
生活習慣病予防プラン

令和3年3月
越谷市

計画の概要

越谷市では、国民健康保険加入者の生活習慣病の予防・早期発見・早期治療を行うため、平成 20 年度から「越谷市特定健康診査等実施計画」を策定し、特定健康診査等を計画的に実施してきました。また、平成 28 年度からは保健事業を効果的かつ効率的に実施するため、「越谷市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」と「越谷市特定健康診査等実施計画」の 2 つの計画を一体的に策定し、総合的な保健事業の実施計画としました。

平成 30 年度からは 6 か年の計画として、「第 2 期越谷市国民健康保険保健事業実施計画」および「第 3 期越谷市特定健康診査等実施計画」を策定し、国民健康保険被保険者の健康増進を図るための各種保健事業を実施してきましたが、令和 2 年度で計画期間の前半が終了することから、前半の事業評価とレセプト情報や特定健康診査等のデータ分析を踏まえ、6 か年計画の改訂版として、新たに「第 2 期越谷市国民健康保険保健事業実施計画」および「第 3 期越谷市特定健康診査等実施計画」中間見直し版を策定したものです。

計画策定の目的

国民健康保険では増え続ける医療費への対策が課題となっていることから、生活習慣病の発症・重症化予防等に取り組むことにより、早急に医療費の縮減を図る必要があります。

本計画は「健康寿命の延伸」と「医療費適正化」を目的として、効果的かつ効率的な保健事業の実施を目指します。

計画策定の位置づけ

本計画は、国・埼玉県の計画や第 5 次越谷市総合振興計画、「いきいき越谷 21」等の関連計画との整合性を図りながら、越谷市国民健康保険の総合的な保健事業計画として、「越谷市国民健康保険保健事業実施計画」と「越谷市特定健康診査等実施計画」との 2 つの計画を一体的に策定したものです。

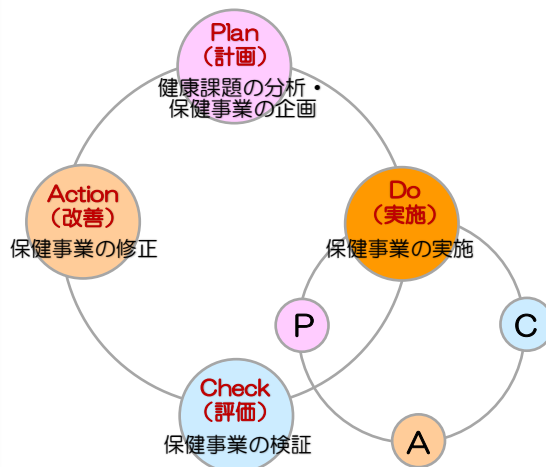
計画の期間

本計画は、平成 30 年度から令和 5 年度までの 6 か年を計画期間としており、令和 2 年度に計画期間の前半が終了することから、中間評価の実施と計画の見直しを行い、改訂版として中間見直し版を策定しました。

また、最終年の令和 5 年度には、総合的な評価を行い、計画全体を見直します。

計画の評価

各事業においても、PDCA サイクル^{※1}に沿った効果的な保健事業を実施するため、毎年度、ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカム^{※2}の 4 つの視点から評価を行います。



※1 PDCAサイクル

計画 (Plan) を立て、実行 (Do)、その結果を評価 (Check) し、改善 (Action) するという一連の流れ。

※2 ・実施体制(ストラクチャー)

保健事業を実施するための仕組みや体制が整っているか

・実施過程(プロセス)

事業の目標を達成するための実施過程が適切であるか

・実施状況・実施量(アウトプット)

事業の成果を上げるために立案した実施量に到達しているか

・成果(アウトカム)

事業実施により得られた成果が達成しているか

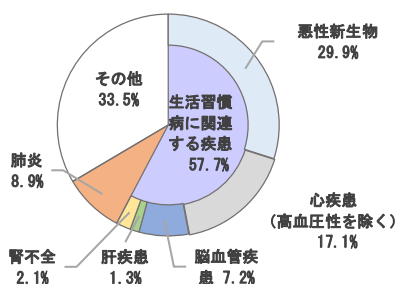
越谷市国民健康保険加入者を取り巻く現状と課題

国民健康保険医療費

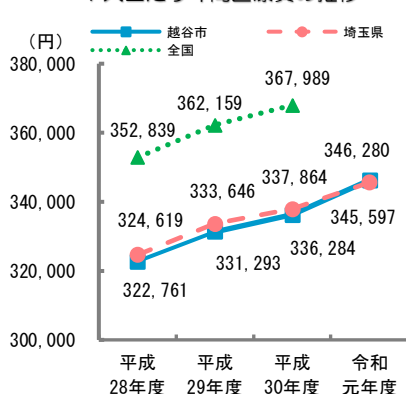
【現状】

- 1人当たり医療費は、全国平均より低くなっており、埼玉県平均とほぼ同水準となっています。
- 1人当たり調剤費の平成28年度から令和元年度の増加率は、埼玉県が約2.0%に対し、越谷市は約0.2%でした。
- 生活習慣病の被保険者1人あたり医療費は、年々増加傾向であり、平成28年度に比べ、令和元年度は20,647円高くなっています。
- 悪性新生物を含む生活習慣病関連の死因割合が57.7%と高くなっています。

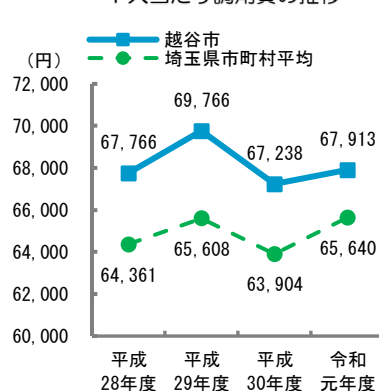
死因別死亡割合（平成29年）



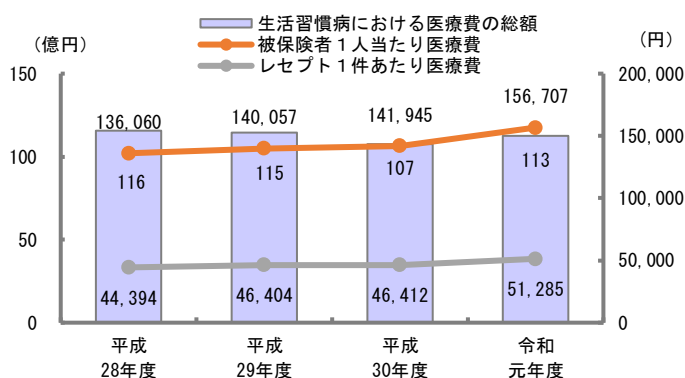
1人当たり年間医療費の推移



1人当たり調剤費の推移



生活習慣病医療費の推移

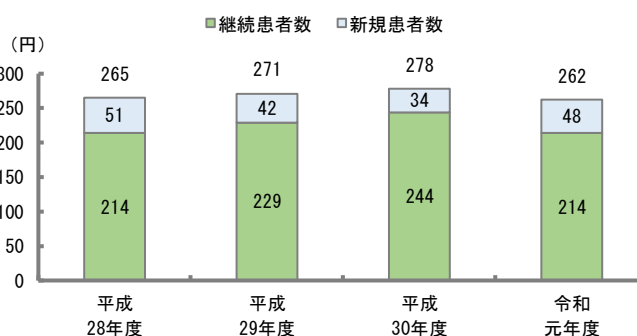


人工透析の状況

【現状】

- 新規人工透析患者数は、減少傾向にありましたが、令和元年度には増加し、48人となっています。
- 人工透析患者の1人当たり月間医療費は、令和元年度で437,056円となっています。

人工透析患者の推移



人工透析の医療費の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人工透析患者数	265人	271人	279人	262人
総支出医療費	137,463,660円	136,358,230円	127,862,900円	114,508,600円
1人当たりの月間医療費	518,731円	503,167円	458,290円	437,056円

【課題】

生活習慣病関連の医療費は、年々増加しており、特に人工透析にかかる医療費は高額となっています。

こうしたことから、増え続ける1人当たり医療費への対策として、被保険者の生活習慣の改善を促進し、生活習慣病の発症・重症化予防等への取り組みが必要です。

特定健康診査データ

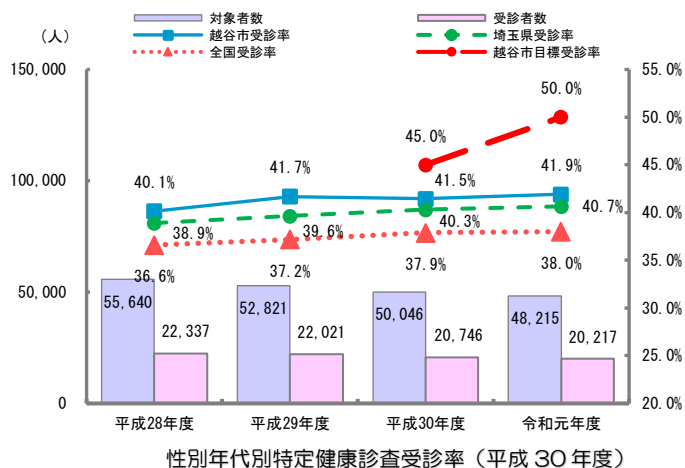
【現状】

- 特定健康診査受診率は、平成 29 年度以降ほぼ横ばいで推移しており、目標受診率に達していません。
- 男女ともに 40 歳代～50 歳代前半、60 歳代前半の受診率が低下しています。
- 特定健康診査受診者に比べて、特定健康未受診者は、レセプト 1 件あたり医療費が 19,930 円高くなっています。また、全国、埼玉県平均と比べて高くなっています。

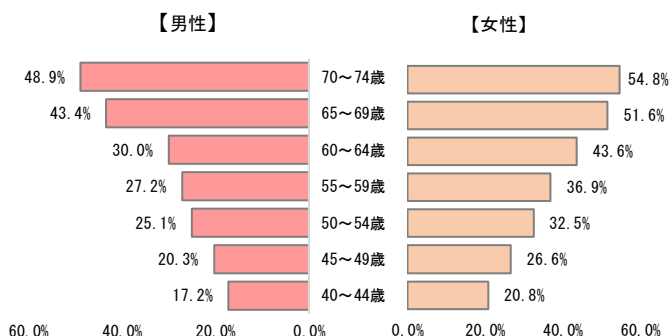
特定健康診査受診有無による
レセプト 1 件あたり医療費の比較

	越谷市	埼玉県	全国
特定健康診査受診者	24,540円	24,210円	24,670円
特定健康診査未受診者	44,470円	41,640円	41,460円
医療費の差	19,930円	17,430円	16,790円

特定健康診査の受診率の推移



性別年代別特定健康診査受診率 (平成 30 年度)

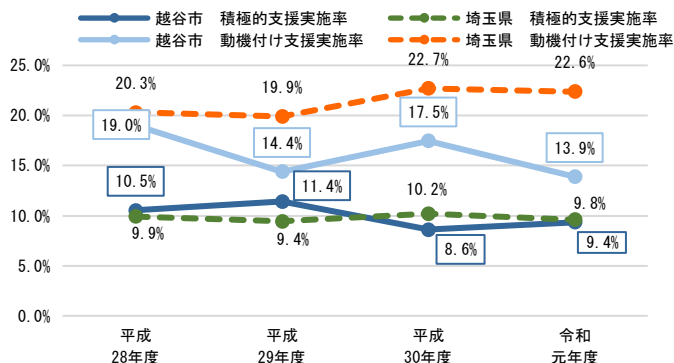


特定保健指導データ

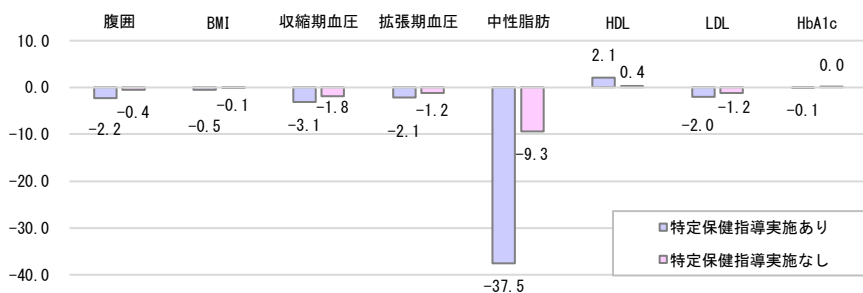
【現状】

- 特定保健指導の実施率は、積極的支援が 9.4%、動機づけ支援が 13.9%となっています。
- 特定保健指導を実施した被保険者と実施しなかった被保険者の検査結果を比較すると、ほぼ全ての項目において、保健指導実施者のほうが、改善度合いが高くなっていることが分かります。

特定保健指導実者 (積極的支援・動機づけ支援) の推移



特定保健指導実有無による検査結果の改善度合い



【課題】

特定健康診査未受診者は受診者に比べて医療費が高くなっていることから、特定健康診査受診による生活習慣病の早期発見が重要です。生活習慣の改善・生活習慣病の重症化を防ぐためにも特定健康診査受診率と特定保健指導実施率の向上が課題となっています。

計画及び施策の体系

目的

健康寿命の延伸・医療費適正化

重点施策	施策の方針
重点施策 1 健康管理意識の向上	・ 特定健診受診率向上に向けた施策の拡充 ・ 新生物（がん）の早期発見、予防のためのがん検診受診勧奨の強化 ・ フレイル対策、高齢者の介護予防と保健事業の一体的実施に向けた準備
重点施策 2 メタボリック シンドローム 該当者・予備群の減少	・ 特定保健指導カリキュラムの充実と勧奨手法の充実による実施率向上 ・ 健診結果改善に向けた、委託事業の評価、進捗管理の強化
重点施策 3 生活習慣病の重症化 予防の強化	・ 健診異常値放置者や治療中断者などの生活習慣病重症化リスクが高い被保険者に対する指導の拡充とアプローチ体制の構築 ・ 糖尿病性腎症罹患患者への保健指導の継続的な実施
重点施策 4 医療費適正化対策の 推進	・ 多受診の適正化に向けた啓発活動の充実 ・ ジェネリック医薬品利用促進に向けた取り組みの継続 ・ 重複服薬及び多剤服薬者に対する、服薬適正化に向けた取り組みの拡充

実施する保健事業

① 特定健康診査

② 特定健康診査未受診者ハガキ勧奨

③ 特定健康診査未受診者電話勧奨

④ 人間ドック健診料助成事業

⑤ 埼玉県コバトン健康マイレージ事業

⑥ かかりつけ医からの診療情報提供事業（新規事業）

① 特定保健指導

① 生活習慣病重症化予防対策事業（受診勧奨）

② 生活習慣病重症化予防対策事業（保健指導）

③ 健診異常値放置者・治療中断者重症化予防事業（新規事業）

① ジェネリック医薬品普及促進事業

② 多受診適正化事業（新規事業）

③ 重複・多剤服薬適正化事業（新規事業）

取り組むべき重点施策と目標

重点施策 1 健康管理意識の向上

特定健康診査の受診率の向上を図るため、効果的な対象者にハガキや電話などの受診勧奨を実施します。

中長期目標 達成指標	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	目標値 (令和 5 年度)
特定健康診査受診率 (法定報告)	41.7%	実績：41.5% 目標：45%以上	実績：41.9% 目標：45%以上	60%以上
生活習慣の改善意欲「既に改善に取り組んでいる (6ヶ月以上)と回答した人の割合 (特定健康診査の質問票より)	実績：16.1% 目標：18.5% (埼玉県平均)	実績：16.2% 目標：18.2% (埼玉県平均)	実績：16.7% 目標：18.3% (埼玉県平均)	埼玉県平均 以上

重点施策 2 メタボリックシンドローム該当者・予備軍の減少

メタボリックシンドローム該当者・予備群とリスク保有者の減少をめざすため、特定保健指導の利用勧奨を通じ、実施率の向上を図ります。

中長期目標 達成指標	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	目標値 (令和 5 年度)
メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合 (法定報告)	該当者：19.1% 予備群：10.0%	該当者：19.1% 予備群：10.1%	該当者：19.9% 予備群：11.0%	該当者： 17.0%以下 予備群： 9.0%以下

重点施策 3 生活習慣病の重症化予防の強化

生活習慣病のうち、特に医療費が高額である糖尿病の重症化を予防し、人工透析への移行を防止することで、生活の質（QOL）の向上と医療費の縮減を目指します。

中長期目標 達成指標	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	目標値 (令和 5 年度)
新規人工透析患者数 (特定疾病受療証新規受付)	実績：42 人 目標：51 人以下	実績：34 人 目標：51 人以下	実績：48 人 目標：51 人以下	現状値 (平成 28 年度： 51 人)以下

重点施策 4 医療費適正化対策の推進

医療費の適正化を図るため、ジェネリック医薬品の普及を促進していきます。

中長期目標 達成指標	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	目標値 (令和 5 年度)
1 人当たり医療費	実績：331,293 円 目標：333,646 円 (埼玉県平均)	実績：336,284 円 目標：337,864 円 (埼玉県平均)	実績：346,280 円 目標：345,597 円 (埼玉県平均)	埼玉県平均 以下
1 人当たり調剤費	実績：69,766 円 目標：65,608 円 (埼玉県平均)	実績：67,238 円 目標：63,904 円 (埼玉県平均)	実績：67,913 円 目標：65,640 円 (埼玉県平均)	埼玉県平均 以下

保健事業の実施内容

1 健康管理意識の向上

①特定健康診査 〔目的〕 生活習慣病の予防・早期発見 〔内容〕 集団健診・個別健診	実施体制 越谷市医師会に委託、医療機関との連携等	実施状況・実施量 特定健康診査受診率（法廷報告）	現状値 （令和元年度） 41.9%	目標値 （各年度評価） 令和3年度：50% 令和4年度：55% 令和5年度：60%
	実施過程 スケジュール管理、がん検診との同時実施、広報・周知	成果 ①血圧有所見者の割合 ②HbA1c 有所見者の割合	現状値 （令和元年度） ①48.6% ②50.0%	目標値 （各年度評価） 令和3年度： ①46.4% ②46.4% 令和4年度： ①45.4% ②45.4% 令和5年度： ①44.4% ②44.4%
②特定健康診査 未受診者ハガキ勧奨 〔目的〕 特定健康診査受診率の向上 〔内容〕 受診勧奨ハガキの送付	実施体制 予算の確保、委託業者の選定、適切な業者評価指標の設定	実施状況・実施量 対象者への通知率	現状値 （令和元年度） 100.0%	目標値 （各年度評価） 100.0%
	実施過程 勧奨が効果的と思われる対象者の抽出	成果 受診率が何ポイント向上したか	現状値 （令和元年度） 特定健診受診率 41.9%	目標値 （各年度評価） 前年比 3 ポイント以上向上
③特定健康診査 未受診者電話勧奨 〔目的〕 特定健康診査受診率の向上 〔内容〕 電話による受診勧奨	実施体制 予算の確保、委託業者の選定、適切な業者評価指標の設定	実施状況・実施量 対象者への架電率（留守電・伝言を含む）	現状値 （令和2年度） 64.1%	目標値 （各年度評価） 65.0%
	実施過程 勧奨が効果的と思われる対象者の抽出	成果 受診率が何ポイント向上したか	現状値 （令和元年度） 特定健診受診率 41.9%	目標値 （各年度評価） 前年比 3 ポイント以上向上
④人間ドック検診料 助成事業 〔目的〕 人間ドック検査費用の一部助成による健康の保持増進 〔内容〕 人間ドック検診料の一部助成	実施体制 助成人数増加に見合う予算要求	実施状況・実施量 人間ドック検診料助成人数	現状値 （令和元年度） 833 人	目標値 （各年度評価） 850 人
	実施過程 様々な媒体を活用した広報・周知	成果 特定健康診査受診率への換算率	現状値 （令和元年度） 1.72%	目標値 （各年度評価） 1.72%以上
⑤埼玉県コバトン健康 マイレージ事業 〔目的〕 健康づくりの支援 〔内容〕 歩数等に応じたポイントの付与・特典の提供	実施体制 共同事業として業務委託により実施	実施状況・実施量 参加者数	現状値 （令和元年度） 3,420 人 （令和2年3月時点）	目標値 （各年度評価） 前年度参加者数より 500 人以上増加
	実施過程 様々な媒体を活用した広報・周知	成果 1 か月の平均歩数が 8,000 歩以上達成した人数（延べ人数）	現状値 （令和元年度） 5,353 人	目標値 （各年度評価） 年間 5,000 人以上

⑥かかりつけ医からの診療情報提供事業（新規事業） 〔目的〕 医療機関より検査データを収集・計上することによる受診率の向上 〔内容〕 情報提供の同意を得た被保険者の検査データを医療機関より収集	実施体制 医師会、その他関係機関との協議・調整。データ収集環境の構築	実施状況・実施量 未受診者への情報提供通知発送数	現状値（令和元年度） —	目標値（各年度評価） 2,000 人（令和 5 年度）
	実施過程 情報提供内容・情報収集手法の検討と運用の確立	成果 特定健康診査受診率への換算率	現状値（令和元年度） —	目標値（各年度評価） 1.5%（令和 5 年度）

2 メタボリックシンドローム該当者・予備軍の減少

①特定保健指導 〔目的〕 生活習慣病のリスクが高い被保険者の生活習慣の改善 〔内容〕 厚生労働省による「標準的なプログラム」に示されているプログラムと同程度の保健指導の実施	実施体制 利用者の興味を引くような魅力のある事業を提案する委託先を選定	実施状況・実施量 特定保健指導実施率	現状値（令和元年度） 12.7%	目標値（各年度評価） 令和 3 年度：50% 令和 4 年度：55% 令和 5 年度：60%
	実施過程 電話勧奨など未利用者対策を含めた提案内容を評価	成果 BMI が減少した人の割合	現状値（令和元年度） 65.8%	目標値（各年度評価） 前年比 2 ポイント向上

3 生活習慣病の重症化予防の強化

①生活習慣病重症化予防事業（受診勧奨） 〔目的〕 糖尿病重症化リスクの高い未受診者・受診中断者の医療受診 〔内容〕 受診勧奨通知書の送付、電話による再勧奨	実施体制 医師会との連携体制	実施状況・実施量 ①通知回数 ②電話回数	現状値（令和元年度） ①2 回 ②1 回	目標値（各年度評価） ①2 回 ②1 回
	実施過程 実施方法の検討・事業の進捗管理	成果 受診勧奨後の医療機関受診率	現状値（令和元年度） 未受診者：20.0% 中断者：28.1%	目標値（各年度評価） 現状値以上
②生活習慣病重症化予防事業（保健指導） 〔目的〕 糖尿病性腎症患者の人工透析への移行の防止 〔内容〕 保健指導の実施による生活習慣の改善	実施体制 医師会との連携体制	実施状況・実施量 参加者数	現状値（令和元年度） 33 人	目標値（各年度評価） 60 人以上
	実施過程 実施方法の検討・事業の進捗管理	成果 事業参加者の HbA1c 値の平均改善率（初回面談時と最終面談時の比較）	現状値（令和元年度） 0.1 ポイント	目標値（各年度評価） 0.2 ポイント以上

③健診異常値放置者・治療中断者重症化予防事業（新規事業） 〔目的〕 医療機関の受診によって心疾患や脳梗塞等の突発的リスクの防止 〔内容〕 医療機関受診勧奨や個別保健指導の実施	実施体制 医師会との連携体制	実施状況・実施量 保健指導実施人数	現状値（令和元年度） —	目標値（各年度評価） 10人
	実施過程 KDB システム・特定健診システムを活用した対象者の抽出	成果 事業対象者の医療機関受診率	現状値（令和元年度） —	目標値（各年度評価） 20%

4 医療費適正化対策の推進

①ジェネリック医薬品普及促進事業 〔目的〕 生活習慣病に関する薬剤の費用削減 〔内容〕 ジェネリック医薬品希望シールの配布、差額通知の発送	実施体制 埼玉県国民健康保険団体連合会に通知作成を委託	実施状況・実施量 差額通知回数	現状値（令和元年度） 2回	目標値（各年度評価） 2回
	実施過程 年2回の広報誌への掲載による周知活動	成果 数量シェア	現状値（令和元年度） 82.6% （令和2年3月診査分）	目標値（各年度評価） 80%
②多受診者適正化通知事業 〔目的〕 頻回受診、重複受診者の受診行動と医療費の適正化 〔内容〕 レセプトデータ分析から、継続して頻回受診、重複受診となっている被保険者の抽出と啓発通知の送付	実施体制 国保連・医師会との調整や協議、事業の推進	実施状況・実施量 通知回数	現状値（令和元年度） 1回	目標値（各年度評価） 1回
	実施過程 広報誌、市HP等への掲載による周知活動	成果 対象者の改善率	現状値（令和元年度） 27.2% （3人/11人中）	目標値（各年度評価） 50%
③重複・多剤服薬者適正化通知事業 〔目的〕 重複・多剤服薬者の投薬と薬剤費の適正化 〔内容〕 レセプトデータ分析から、継続して重複かつ多剤服薬となっている被保険者の抽出と啓発通知の送付	実施体制 国保連・医師会との調整や協議、事業の推進	実施状況・実施量 通知回数	現状値（令和元年度） 1回	目標値（各年度評価） 1回
	実施過程 広報誌、市HP等への掲載による周知活動	成果 対象者の改善率	現状値（令和元年度） 27.2% （3人/11人中）	目標値（各年度評価） 50%

第2期越谷市国民健康保険保健事業実施計画・第3期越谷市特定健康診査等実施計画
中間見直し版【概要版】
(令和3(2021)年 3月)

発行：越谷市保健医療部国民健康保険課
〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
電話 048-963-9154(直通)
FAX 048-963-9199



第2期越谷市国民健康保険保健事業実施計画・第3期越谷市特定健康診査等実施計画
中間見直し版【概要版】
(令和3(2021)年 3月)

発行：越谷市保健医療部国民健康保険課
〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
電話 048-963-9154 (直通)
FAX 048-963-9199